

時を守り
場を清め
礼を尽くす

神辺中だより



13

令和6年3月
神辺中学校長

174名の卒業生のみなさん、おめでとう！

～「それぞれ」の道へ～

この日をどんな気持ちで迎えたか、この日をどんなに待ち望んだか。保護者の方はどんな思いでいられるのだろう、私たち先生はこの日のために、さまざまなことをして考えています。

今年の卒業証書授与式では、PTA会長の横山さんが式辞をくださっていました。一部抜粋して紹介します。保護者の方の想いがつまったものです。



【式辞】

(一部略)

「小さかった我が子が、あっという間に親の背を越し、友だちとの絆を深め、時には悩みながらも自分で決断し、次の道へ進もうとしています。

2009年3月、暖かい風の吹く日に我が子は産まれました。気持ちよさそうによく眠る子でした。親の望みは一つです。元気に大きくなりますように。

小学生の時は、放課後いつも近所の子とにぎやかに遊んでいる元気な子でした。親の望みが一つ増えます。元気に大きくなりますように。それから、友だちと仲

良く楽しい学校生活が送れますように。

のびのび育った我が子は、中学生になりました。クラスの友だち、部活動の仲間、登下校の友だち、たくさんの人に囲まれて過ごします。その中で、自分でも分からない心のモヤモヤと闘うこともありました。また、親の望みが一つ増えます。元気で大きく、友だちと仲良く、そして、壁を乗り越える力をつけてほしい。

皆さんは、こんなに大きくなって抱っこもできないけれど、親はいつまでも子どもの成長にドキドキしたりワクワクしたり、心配したり期待したりするのです。それは、もしかしたら先生方も同じ気持ちかもしれません。大人は勝手に期待します。だから、皆さんも勝手に大きくなったような顔で勝手に大人になっていけばいいのです。私たち大人もそうやって年を重ねてきました。そしていつか自分の道を振り返る時がきて「私は守られてきたんだ」と感じ、人に感謝する日がきます。



皆さんは、気づかないところでたくさんの大人に見守られています。

だから、失敗をおそれず、どんどん前に向かって進んで行って下さい。」

みなさんはどんなふう感じたでしょうか。

私からもこんなメッセージを送りました。

・・・「時を守り 場を清め 礼を尽くす」ことを覚えておいてくれたら と思っています。

どんなに社会が変化しても、人と人とのかわりなくして、社会は形成されません。どんな時なのか、どんな場なのか、相手をどう見るか、どんな対応をしているかで、相手に与える印象やその後の結果は変わってくるはずです。

学校教育目標の「よりよく生きる」ことにもつながっています。さらに、その中で「自分らしさ」をどのように生かすか、ということも問われている時代です。先ほども申しましたが、皆さんはこれからの時間のほうが圧倒的に長く、可能性は無限にあります。失敗することがあるかもしれませんが、しかし、くじけず、よりよい判断と実行力で、社会で、世界で、今後、皆さんが活躍することを願っています。

何をどう感じるかは人それぞれです。それでも、神辺中学校で出会った人たちと、3年間で何を成し遂げるのか、自分次第です。それも、「それぞれ」です。明日から何をするのか、問われています。

